

国際会議 ASEA-SEC-4 への参加報告†

谷口望*, 廣江正明**

1 はじめに

ASEA-SEC-4 (The Fourth Australasia and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference) は、オーストラリアと東南アジアで開催される、構造技術、建設技術に関する国際会議の第4回目に当たる。本会議は、オーストラリアのブリスベン、サザンクイーンズランド大学で、2018年12月3日から12月5日の間で開催された。この国際会議について参加したので報告する。

2 研究発表

本国際会議に我々が論文投稿したタイトルは、「Noise reduction due to vibration damping estimated by measurement of particle velocity (写真-1, -2)」(和訳：粒子速度計により推定した振動減衰による騒音低減)である。本内容は、JSPS 科研費(15K06189: 研究代表者谷口望)の助成を受けて研究を実施したものであり、この成果発表に位置付けられる。研究の内容としては、鉄道橋で課題となっている騒音振動対策に関する研究内容であり、新幹線を有する我が国は、世界的にもこの分野で進んでいる技術であると考えている。

日本においては歴史的に、土木と建築は別の分野として扱われていることが多いが、国際的には土木と建築は堺の無い技術として扱われることが多い。ASEA-SEC-4においても、土木や建築の専門家両方が参加していた。当方が確認した限りでは、参加者は日本以外に、中国、タイ、アメリカ、インドの技術者が参加していた。

3 そのほか

オーストラリアのブリスベンで著名な土木構造物として、ストーリーブリッジ(写真-3)がある。本橋は、1932年に建設された大型の道路用トラス橋である。空いた時間に本橋を視察することができたが、昔ながらのピン構造を用いたイギリス形式の橋梁には圧倒された。

また、ブリスベンの街並みはよく整備されていたことが印象的である。発表会場までの移動には鉄道を用いたが、通勤ラッシュ時においても日本のような混雑はなく、全員が着席できるような余裕が見られた。鉄道車内においても車いすスペースが多くとられているなど、社会福祉的な面も充実している様子がうかがえた。反面、オーストラリアの物価が高いという側面もあるが、非常に豊かな国であることが実感できた。



写真-1 発表の状況



写真-2 Tea Break での一コマ
(左より、著者、廣江氏、坂野教授(関西大))



写真-3 ブリスベンで有名なストーリーブリッジ

† 原稿受理 平成31年2月28日 Received February 28, 2019

* 社会環境工学科(Department of Civil and Environmental Engineering)

** 一般財団法人 小林理学研究所 騒音振動研究室 室長

